

北見工業高校 現地講習会 一般国道39号 美幌橋

10月21日に「国の建物の建設現場をお見せします」という工事の現場見学会を、網走開発建設部が実施しました。

道路整備保全課では、将来の技術者候補である土木を学ぶ北見工業高校の生徒たちに「橋梁の老朽化の現状や対策」への理解を深めてもらおうと、実際の橋梁の現場を案内しました。



参加者
北見工業高等学校
建設科 2～3年生 33名
引率の先生 2名

講習内容

講習では①橋の構造等の基本的な説明や、②橋の老朽化に対する維持管理について学習しました。橋の構造については設計時の留意事項を割り箸を使って説明したほか、建築から50年を超える橋梁が増えつつあることから、それらの現状を把握し、いかにして対策を講じるかを説明しました。補修や補強の説明と一緒に劣化の三大原因である「疲労」「塩害」「ASR」と、北海道で見られる特有の「凍害」について資料を配りました。こうした内容を踏まえ、最後は実際の美幌橋を見てもらいました。

配付した資料は2枚目以降にあります

※ ASRとは・・・アルカリシリカ反応の略称でコンクリート中のアルカリ性溶液と骨材中のある種のシリカ鉱物とが反応して膨張性の物質が生成されることをいいます。膨張するとコンクリートにひびが入る等の影響を与えます。



橋がどういう役割を持つのか説明しました！



実際の橋の構造を間近で見学！